

ものづくりなぜ?なぜ?プロジェクト

なぜ?なぜ?つうしん 2011年度 秋号



11月5日陶芸チームの日

プロジェクトリーダーからのメッセージ

桑名 一隆 (くわな かずたか)



あすでは、すっかり秋の色になりましたが、ものづくりなぜ?なぜ?プロジェクトは皆さんの熱気で、ますます盛り上がっています。

これからの4ヶ月は達人さんから苦勞に苦勞を重ねて教わったワザを生かして、本格的なものをつくり込んでいきます。どんなものができるか楽しみです。大変ですがガンバリましょう!

繊維



なぜこの声

小3 男

昨年のわくわくワールドで繊維を体験し入りました。ワタをとったり細かい事をやるのが楽しいです。糸車で糸をつむぐのはちょっと難しかったです。マユでストラップを作ったり、機織り機で布を織ってみたいです。

5月に棉の種をまき、そして、お蚕さんを育てて、はや半年が経ちました。お蚕さんが皆繭を作るまで上手に育てたなぜっ子、棉の育つ様子を絵や写真を使って発育記録を書いたなぜっ子もいます。最初は、なかなかつながらなかった糸紡ぎも上手く出来るようになりました。今、昔の高機で織るための作業に入っています。管巻き、整経、千切巻き、綜紉作りの各工程を集中して確実に進めます。大きな整経台で綾をとる指使いもみんな見事に覚えました。「こんなに綜紉を作るのはいや～」と言いながらも、辛抱強く、糸綜紉を作っています。すばらしい布の織れることを夢見ながら、あと半年ものづくりの夢の実現に向けて頑張らしましょう。

繊維チームリーダー 深津 鋼次(ふかつ こうじ)

自動車



なぜこの声

小6 男

学校で募集の案内を見て入りました。実際に体験ができてとても楽しいです。吹きつけなど、今までやったことがないのでちょっと大変ですが、友だちもたくさんできたので、これからもがんばっていききたいと思えます。

いつまでも続く残暑ですが、子供達は物ともせずはりきっています。10月は「わくわくワールド」に参加し、多くの人々との出会いに触れ、また一つ成長したようです。指導員も新しい手造り教材を造るなど工夫を凝らして頑張っています。1年生は塗装や溶接、縫製に取組みながらチームワーク良く『レストア』に励んでいます。『夢の車』の面々は、ボディづくりと、骨格の切断～溶接に別れ真っ黒になりながら、一丸となって取組んでいます。今年は、大きな災害や事件が続き、節電や日程変更など苦しい事続きますが、子供達も指導員も来年の完成めざし邁進しております。今後とも、保護者と、関係者の皆様方の更なる御協力を、よろしくお祈りします!

自動車チームリーダー 前田 浩二(まえだ こうじ)

陶芸



なぜこの声

小6 女

ものをつくるのが好きなので陶芸チームに入りました。ロクロなどとても楽しいです。マキ割りは力があるのでちょっと大変でした。茶碗は作ったのですが、茶碗蒸しの器も作ってみたいです。

今期ももう半年が過ぎてしまいました。2回目の作品も本焼きが終わり今は窯の中で静かに眠っています。温度も900度を超えたようです。良い色合いで焼き上がっていることでしょう。11月19日の活動日に窯出しをする予定ですが楽しみです。成形は1年間で3回しますがその他にロクロで作ったものを電気窯で焼こうと考えています。ロクロは中々思うようになりません。ロクロの上で土を動かして「うつわ」にすることはとても難しいことです。数回しか練習ができていませんが、すごく興味を持って取り組んでいます。まだ苦勞して土と格闘しています。がんばって自分の力で作りあげて欲しいと思います。

陶芸チームリーダー 牧原 理恵子(まきはら りえこ)

なぜボラの声

陶芸チーム

妻の送迎をしているうちに自分も手伝うようになりました。無から何かを作りだすのは面白いですね。釉薬も、焼き上がってみないとどんな風に仕上がっているのか分からず、また、窯の火加減などとても奥深いものがあります。子どもたちは元気です。大人になっても、この体験を思い出してくれたらいいですね。

なぜボラの声

自動車チーム

仕事でFRPのボディーづくりをしており、その指導ができたらと2年目から参加しています。今年の子はまじめで我慢強いです。つらいことを乗り越えて作りあげる喜び、達成感を味わって欲しいなと思います。いい思い出になって、今後ものづくりを続けていってくれたらいいですね。

農業シンポジウムのお知らせ

12月11日(日)

13:30~15:00

場所: あすて

ものづくりなぜ?なぜ?プロジェクト 農業チームの7年の活動を振り返り、これからの農業をみんな考えたいと思います。参加無料。親子で、お友達で、ぜひご参加下さい。

申込み・問合せ:

0565-34-6758(豊田市生涯学習課)



先日、厚生労働省から、工業技術や料理、伝統芸能などものづくりの各分野で優れた技術、業績を持つ「現代の名工」150名が発表され、愛知県内からも10名の卓越した技能者が新たに現代の名工となりました。このなぜ?なぜ?プロジェクトボランティア指導員の中にも、そんな現代の名工がいらっしゃるんですよ。いずれは、なぜっ子の中からも、未来の現代の名工が生まれる事を期待しています。間もなく忍耐の冬です。この厳しい季節を乗り越えた先に、春が待っていますよ。きっと。頑張れ!

—編集後記—